

わが修二校



平成29年度 第3号

平成29年6月2日
京都市立修学院第二小学校
校長 川口 正二

6月のことば

～6月は不安定な時期です。～

今月は「人の話をしっかりと聴こう 自分の気持ちを正しく伝えよう」としました。今日の朝会で、子ども達には次のような話をしました。

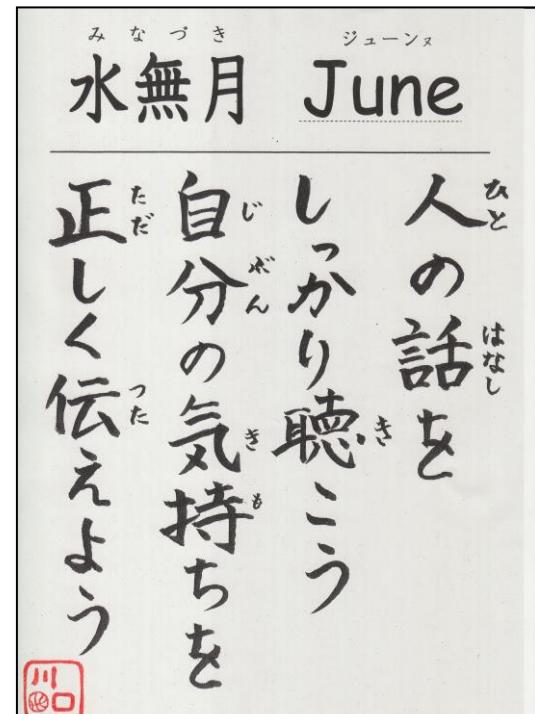
4月から2か月経ち、新しい環境に慣れてきたところで、6月はよくケンカなど子ども達の間でのトラブルが多くなる月です。休み時間などに時々「おい、お前ら」とか「～しろ」などと大きな声で、乱暴な口調で友達に命令するように言う声を聞きます。もしかすると、何かをするのに「こうすればうまく行く」「本当はこうすべきなのに、あなたはなぜそうしないのか」という気持ちを表したいのかも知れないが、相手よりも上の立場にあるかのように、偉そうに言うなど、伝え方を間違うといさかいになってしまふ。そうではなく、自分の気持ちを正しく伝えて、お互いが気持ちよく、納得していくような関係を作っていくのが大切です。

また、自分の考えをしっかりと伝えるためには、まず相手がどのような考え方、気持ちでいるのかを十分に理解する必要があります。そのためには、相手の言うことをしっかりと聴くことが大事です。これは朝会では言いませんでしたが、今年の教育目標の重点項目として「傾聴」を挙げています。子ども達には、相手を尊重するためには、まず相手の話をしっかりと聴く態度を身に付けて欲しいと思っています。

4月に示した今年の合言葉「自分らしく生きる」「共に生きる」も、もう一度確認しました。今月のことばは主に「共に生きる」に関係することばです。児童会で決めている6、7月のコツコツ目標は「笑顔いっぱいの修二校 キラキラ言葉を使おう」です。これとも関連づけて、よく考えて欲しいと訴えました。

また併せて、「いろいろな悩みがあったり、うまく行かない感じることがあったりする人もあると思う。もし困っていることがあれば、誰でも先生に相談して欲しい。どの先生もちゃんと考えてくれます。」ということを子ども達に伝えました。

ご家庭でも子たちに変化が見られないか、少し気に留めていただくとよいかと思います。友だちや授業など学校でのこと、親や兄弟など家庭のことでの悩みや不満などが何かの問題行動として現れるということもあります。何かお困りのことがあれば、担任などにご相談ください。



電車の線路への置き石

上記のこととも関連しますが、大変残念なことであります。本校の児童が叡山電鉄の線路に石を置いて、実際に電車がその石を踏むという事が起きました。言うまでもなく、線路への立ち入りは命に関わる非常に危険な行為であり、置き石は重大な事故や社会全体への大きな迷惑につながりかねません。下鴨警察署からも、児童たちにしっかり指導して欲しいという依頼がありました。警察からいただいた右のような文書を使って、全学級で指導いたしました。

ご家庭でも、この事についてお話ししていただきたいと思います。

千羽鶴を折りました。

6年生が6月15, 16日（木, 金）に修学旅行に行きます。その中で淡路島にある北淡震災記念公園の野島断層保存館を訪れ、阪神・淡路大震災について学びます。その時に、6年生は震災で亡くなられた方々に千羽鶴をたむけることを決めました。そして、そのために全校児童が協力して、一つひとつ心を込めて千羽鶴を折りました。鶴を上手に折れる子もいれば、なかなかできない子もいます。6年生は各クラスを回って、ていねいに折り方を教えてあげました。

English Shower 曲紹介

昨年10月から English Shower の一環として、昼休みの掃除終了時に the Beatles の "Let It Be" を、中間休みの終了時には毎月曲を変えて英語の歌を流しています。

今月は6月、雨の季節ということで the Cascades の "Rhythm of the Rain" (邦題:「悲しき雨音」) にしました。今後も月の名前や季節感に応じた曲を流していく予定です。

「修ニッ子」の活躍

少林寺拳法で入賞 … 5月28日（日）に行われた第40回京都府民総合体育大会の少林寺拳法「少年・少女茶帶」の部で4年生S君が優良賞を獲得しました。



この印刷物が不要になれば
「雑がみ」として古紙回収等へ！

